

The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

June
ISSUE



June, 2019
Volume 92

Message from the Head of Schools

春学期も半分以上が過ぎました。お子達はどのような感じでしょうか。昨年冬に行った保護者アンケートによれば、子どもたちは学校に通うのが大好きであるというお答えがとても多く認められ、とても嬉しく感じました。子どもたちが喜んで元気に学校へ来てくれるのは何よりです。

これから、夏になります。自然災害が起こりやすく、また、最近では猛暑が当たり前のようになってきています。昨年は、6月に大阪北部地震があり、正門のところで子どもたちを待っているときに、足元が大きく揺れたことを思い出します。8時直前で、到着したバスもあれば、まだ、駅で乗車を待っているバスもありました。その日は昼から子どもたちのお迎えをお願いしました。ご対応いただきありがとうございます。7月には西日本豪雨による水害が発生し、9月には台風21号と24号の猛威により多くの被害が起こりました。休校するかどうかの判断も求められ、学校としては、子どもたちの居住範囲が広いこともあり、より安全に振れた判断をしました。

また、愛知県では熱中症による児童の死亡事故もありました。昨年は例年より気温が高めでした。確かに、この地区では、昨年の7月と8月の平均気温が28度を超えており、猛暑であったことが見て取れます。7月8月共に平均気温が28度を越えたのは、1994年以来であり、24年ぶりです。また、両月の平均最高気温は、34度を超えています。体温を越えた時間がどれほどあったのかと考えるとぞっとします。今年は平年並みと気象庁は予想しています。はたして、1~4月は例年並みで推移していると認められますが、5月を見てみると、昨年と今年はほぼ同じ傾向となっているので、油断は禁物です。

アメリカで提案された暑さ指数(WBGT: Wet Bulb Global Temperature)によって、熱中症の危険度が判断されています。気温と湿度から熱中症の危険度を示すもので、国際学院でもその指標を用いています。気温が28度でも、湿度が100%だと、危険であると判断されます。運動は禁止です。気温が25~26度でも、湿度が高いと厳重警戒領域とみなされています。激しい運動は避け、体力が低かったり暑さになれていなかったりする人の場合は運動を中止することが求められます。人体と外気との間で体温調節ができるかどうかの指標であり、従っていきたいと思います。

これから夏本番です。くれぐれも、無理をしない活動となるように気を付けていきます。そして、自然とうまく付き合えるようにしていきたいと思います。

校長 太田 哲男



キリスト教教育テーマ

6月：思いやり June：Compassion

「善い人は良い倉から良い物を取り出し、悪い人は悪い倉から悪い物を取り出す。」

聖書協会共同訳 マタイによる福音書 12章 35節

比較的長時間の電車通勤をしている私が毎朝車内で見かける光景は、乗客たちが皆、申し合わせたかのようにスマホを眺めている姿です。たまに目を閉じている人がいたかと思いきや耳にはイヤホンがあり、これまたスマホで音楽などを聴いています（かく言う私も、最近この乗客たちの仲間入りをしつつあります）。

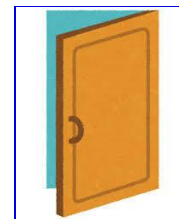
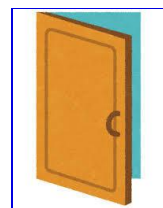
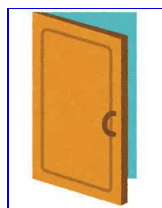
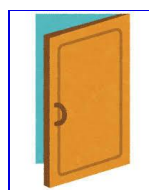
私が小学生に上がるか上がらない頃、「未来から来た猫型ロボット」の漫画が誕生し、そのポケットから次々と繰り出される不思議な秘密道具は、何世代もの子どもたちを魅了してきました。それらは22世紀の科学が生み出した製品という設定でしたが、当時は全てあり得ない魔法のように見える品物ばかりで、そんなものが実現して市場に出回り個人の持ち物になるなんて、子ども時代の私には到底想像できないことでした。ところが21世紀になった今、当時は夢と思われた製品が続々と登場し、商品として普通に売られています。例を挙げればきりがありませんが、私が何よりも驚くべきことと感じているのは、かの漫画の主人公が身に付けている「四次元ポケット」にあたるものを、現在殆んど全ての人が持ち歩くようになった点です。それがつまり「スマホ」なのです。スマホはもはや単なる通信機器ではなくポケットに忍ばせるパソコンであり、これを自在に操ることであらゆるニーズが瞬時に可能となります。見ること、聞くこと、知ること、学ぶこと、遊ぶこと、食べること、装うこと、商うことなど、ありとあらゆる願望の扉を開いてくれるツールです。むしろスマホにできないことを探す方が難しい時代になってきているかも知れません。

とは言え、漫画の四次元ポケットは決して魔法のように無尽蔵に品物を出してくれるわけではなく、出て来る品々はその持ち主が予め未来デパートから取り寄せておいた商品に限られていて、品質の良いものを求めればそれだけ後から高額な請求書が届くようになっていきます。加えて取り寄せた商品が便利で愉快だからと言って、あまり調子に乗って使い方を誤ると、誰かのように最後に泣きを見て助けを求めるはめになります。この点でも、スマホの現実に近いものがあるのではないのでしょうか。

昔から便利なものほど「諸刃の剣」で、それを扱う人の心のあり方が問われます。人を救いもするが、殺しもする。自分を高めることも可能だが、すぐ隣には墮落への道も覗いている。それは今後どんなに科学が発展し、技術が進歩しようとも変わりなく続いて行く真理のように思えます。このような選択の場面にこそ、同志社で学んだ良心教育が役に立った—と後々思ってもらえるような日々の積み重ねでありたいと、心の底から願っています。

{参考図書} てんとう虫コミックス「ドラえもん」藤子・F・不二雄著 小学館 全45巻 など

Christian Education Committee 石川真弓



<お知らせ>

6月12日(水)は「花の日」礼拝です。① お子様には花を一輪、お持たせください。礼拝後、聖書の会 SG さんのお手を借りて小さな花束をたくさん作り、子ども達が日頃お世話になっている方々にお配りする予定です。

② 当日は礼拝中に「おにぎり献金」を行います。ご賛同いただける方は、お子様に献金をお持たせください。

③ 6月28日(金)の朝礼拝で、講師によるバングラディッシュのお話を予定しています。お時間許す方はご自由にどうぞ。

2年生宿泊学習 (Grade2 Overnight School Event)

5月23日(木)から24日(金)、2年生は同志社墓地・京都府植物園・琵琶湖湖畔へ宿泊学習に行ってきました。

初日は、若王子山頂にある同志社の校祖である新島襄先生のお墓に行き、新島先生への学びを深めました。また、京都府立植物園では、現地のガイドさんに様々な植物の姿や特徴などを教わりました。

2日目は、琵琶湖博物館にて、琵琶湖の自然環境について学習しました。植物園や博物館での学習は、もうすぐ始まるUnit2の「生き物と環境」の事前学習になっているとともに、Unit1の「人々は自分のコミュニティで異なったやくわりを果たしている。」というセントラルアイディアの探究として、活動グループ単位での役割を考え、それらを務めること、それぞれの責任を果たすことができるかの実践的な学びともなりました。

お天気にも恵まれ、予定通りの活動ができ、充実した学びとなりました。1年生の時とは異なり、リトリートセンターで集団生活を送る体験を終え、さらにひとまわり成長できた2年生です。

同志社墓地



植物園



リトリートセンター



琵琶湖博物館

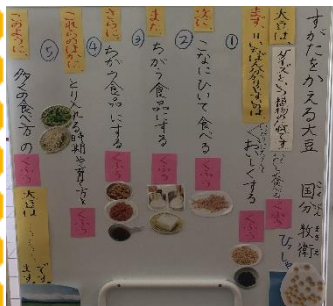




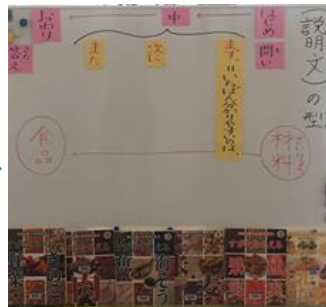
図書館でこそ情報活用教育②

5月号で様々な資料(情報)を構築している図書館でこそ、その使い方、情報のまとめ方を身につける情報活用教育について5, 6年生に行った思考シートを使った情報活用の授業のひとつをご紹介しますが、今回はその具体のPart 2です。

今回は3年生のUnit1と絡めて行ったLC(国語)の授業についてです。3年生の国語の教科書に掲載されている説明文『すがたをかえる大豆』は解説的な文章で書かれた典型的な型の説明文です。「はじめ」で話題を提示し、「中」で大豆を美味しく食べるための工夫を5つ提示し、「おわり」で全体をまとめている。中では「まず」「次に」「さらに」などの接続詞が使われ、それらの接続が文章の交通整理をしてわかりやすくしてくれています。子ども達は読むことで学んだ筆者の段落構成を活用して今度は自分の調べたい食べ物について本から得た情報を基に「書く」活動します。この時、図書資料を使って今度は自分が筆者となって説明文を書いていくのですが、図書資料のどこにその情報があって、どうまとめていったらいいのかを学ばなければ、前回同様情報の海の中で戸惑うこととなります。そこで、チャート図を使い、情報を探し書き出す学習を図書館で丁寧に行いました。



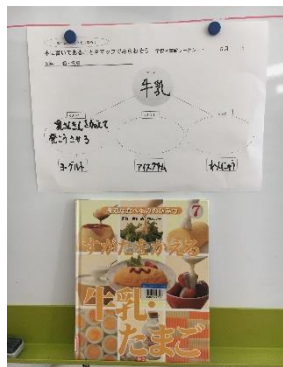
まず筆者の説明文を読み取り、型を理解した後・・・



自分が図書資料を使って書く型をイメージします。

『すがたをかえる大豆』の説明文では、みんなでその文章の中から**材料**(大豆)から**食品**(豆腐、黄な粉など...)にかわる**工夫**(この説明文ではこの言葉がキーワードとなります)を見つけていきましたが、今度は自分で本の文章からそれを見つけていかなければいけません。3年生でこの部分を丁寧に学習することは、これからの探究の学びに於いてもとても大切だと思っています。

司書教諭 上里 久美



思考を可視化するチャート図

チャート図に書き込む子ども達



6月の主な行事・予定

1	Sat	キリスト教学校同盟総会	
2	Sun		
3	Mon	"Unit2(week1)	カンファレンスウィーク
4	Tue		
5	Wed		
6	Thu	G5 校外学習①②	
7	Fri		
8	Sat	私小連音楽会	
9	Sun		
10	Mon	Unit2(week2)	
11	Tue	PM 内科検診 (G5,G6) G5 ゲスト②	
12	Wed	花の日礼拝 G5 進学説明会 G2 校外学習	
13	Thu	G4 校外学習	
14	Fri		
15	Sat	第2回学校説明会 AM	
16	Sun		
17	Mon	Unit2(week3)	
18	Tue	G4 宿泊学習 G3 校外学習	
19	Wed	G4 宿泊学習	
20	Thu	Swimming (G6/G2/G1)G4 宿泊学習	
21	Fri	G4 宿泊学習	
22	Sat		
23	Sun		
24	Mon	Unit2(week4) G3 校外学習 PM 情報モラル講習会	
25	Tue	G6 第2回修学旅行説明会 PM	
26	Wed	同志社研修(午前授業)	
27	Thu	Swimming (G6/G2/G1)	
28	Fri		
29	Sat		
30	Sun		

7月の主な行事・予定

7/4(木) Swimming (G6/G2/G1)
7/6(土) 第3回学校説明会
7/12(金)~18(木) 春学期末カンファレンス
7/19(金) 終業礼拝